



# 平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成30年8月3日

上場会社名 株式会社 ハウス オブ ローゼ  
 コード番号 7506 URL <http://www.houseofrose.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 神野 晴年

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 池田 達彦

TEL 03-5114-5800

四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成31年3月期第1四半期の業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	3,626	5.0	181	129.9	179	132.7	112	173.6
30年3月期第1四半期	3,455	1.2	78	82.2	76	102.5	40	20.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	23.83	
30年3月期第1四半期	8.71	

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第1四半期	9,600	5,529	57.6	1,175.89
30年3月期	8,955	5,505	61.5	1,170.74

(参考)自己資本 31年3月期第1四半期 5,529百万円 30年3月期 5,505百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		20.00		20.00	40.00
31年3月期					
31年3月期(予想)		20.00		20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成31年3月期の業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,300	2.3	540	2.8	540	1.6	280	0.9	59.54

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期1Q	4,703,063 株	30年3月期	4,703,063 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

31年3月期1Q	592 株	30年3月期	592 株
----------	-------	--------	-------

期中平均株式数(四半期累計)

31年3月期1Q	4,702,471 株	30年3月期1Q	4,702,524 株
----------	-------------	----------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第1四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

大阪北部地震並びに西日本豪雨により、被災された方々には謹んでお見舞い申し上げますと共に、一日も早い復旧、復興を心からお祈り申し上げます。

当第1四半期の国内景気は、引き続き企業収益の改善等を背景に、概ね緩やかな回復が持続しましたが、世界的な通商問題による影響が懸念される状況になっております。一方小売業界は、伸長する通販事業者を始め業界を超えた競争が激しくなっている中、原材料価格の上昇や人件費増に加え、消費者の根強い節約志向もあり、収益環境は総じて厳しさが続いております。

#### (直営店商品販売事業)

主力であるハウス オブ ローゼ直営店販売事業につきましては、スキンケア化粧品の販売強化と共に、販売促進や季節限定商品の拡充を図りつつ、課題である新客数の増加を伴う総客数の増加に注力し、取り組んでまいりました。ここ数年来、店舗収益向上を図るべく不採算店舗の退店を進めており、当四半期末時点の店舗数が前年同期末より12店舗減少したため、売上高は前年同期比2.5%減となり総客数も減少しました。しかしながら、既存店ベースでは売上高はほぼ前年同期並みを確保し、総客数並びに課題である新客数は微増となりました。

ネット通販事業は、自社ネット通販において広告宣伝などの販売促進策の強化・拡充を進めた結果、季節限定商品の売上拡大やリピート購入の増加につながり、売上高は前年同期比で25.1%増加いたしました。

他の直営店商品販売事業を加えた当事業売上高は、26億26百万円 (前年同期比2.0%減) となり、営業利益は、SNSを始めとした広告宣伝費などの経費増により6.8百万円 (同28.9%減) となりました。

#### (直営店サービス事業)

リラクゼーションサロン事業は、事業改善のため不採算店舗の退店を進めており、当四半期末時点の店舗数が前年同期末より6店舗減少したため、売上高は前年同期比12.6%減となり総客数も減少しましたが、サロンスタッフの技術力強化や店舗環境の整備を図り、既存店ベースでは売上高、総客数とも増加しました。

一方カーブス事業は、前期に出店した新店2店舗の寄与と共に、既存店においても入会促進活動の成果により会員数が増加し、売上高は前年同期比3.5%の増加となりました。

以上の結果、当事業売上高は3億72百万円 (前年同期比5.0%減)、一方営業利益は、両事業の収益性向上により26百万円 (同54.0%増) と回復基調になりました。

#### (卸売販売事業)

店舗向け卸売につきましては、量販店向け卸部門でボディケア化粧品を中心としたMD「リラクスタイム」が進展したものの、個人オーナー店舗向け卸部門が客数減等により業績が低迷し、売上高は前年同期比5.0%の減少となりました。一方、その他一般卸売につきましては、国内事業者を通じた中国越境EC向け卸売が大きく伸長、売上高は前年同期の約3倍となりました。

以上の結果、当事業売上高は6億27百万円 (前年同期比64.3%増)、営業利益は1億47百万円 (同185.4%増) と大幅に増加いたしました。

以上、当第1四半期における全社売上高は36億26百万円 (前年同期比5.0%増) となりました。中国越境ECを始めとした卸売上の増加により売上原価率は上昇したものの、売上増に加え店舗数減による物件費及び人件費の減少など経費の抑制効果も伴い、営業利益は1億81百万円 (前年同期比129.9%増) と大きく伸長、四半期純利益は1億12百万円 (前年同期比173.6%増) で、当第1四半期は増収増益を確保しました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末より6億44百万円増加し、96億円となりました。

流動資産は、前事業年度末より5億22百万円増加し、56億1百万円となりました。これは主に現金及び預金が4億25百万円、売掛金が70百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末より1億22百万円増加し、39億99百万円となりました。これは主にリース資産(無形)が96百万円増加したことによるものであります。

負債合計は、前事業年度末より6億20百万円増加し、40億70百万円となりました。これは主に電子記録債務が3億43百万円、短期借入金が1億50百万円、賞与引当金が1億50百万円増加したことによるものであります。

純資産合計は、前事業年度末より24百万円増加し、55億29百万円となりました。これは主に利益剰余金が18百万円増加したことによるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、前回発表(平成30年5月14日決算短信)に記載の業績予想に変更はありません。上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成30年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,340,070	2,765,141
売掛金	1,129,725	1,200,556
商品及び製品	1,588,347	1,633,470
その他	21,029	2,300
流動資産合計	5,079,173	5,601,468
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	362,313	359,092
土地	1,369,668	1,369,668
リース資産(純額)	155,309	158,150
有形固定資産合計	1,887,292	1,886,912
無形固定資産	123,157	219,762
投資その他の資産		
差入保証金	651,722	637,353
その他	1,215,029	1,255,128
貸倒引当金	△847	△127
投資その他の資産合計	1,865,905	1,892,354
固定資産合計	3,876,354	3,999,029
資産合計	8,955,527	9,600,497
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	469,034	378,341
電子記録債務	472,596	816,380
短期借入金	-	150,000
未払法人税等	175,872	117,097
賞与引当金	193,381	344,217
その他	672,204	784,707
流動負債合計	1,983,089	2,590,744
固定負債		
退職給付引当金	1,115,590	1,124,170
役員退職慰労引当金	69,264	60,714
資産除去債務	4,941	14,046
その他	277,263	281,225
固定負債合計	1,467,059	1,480,157
負債合計	3,450,148	4,070,901
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	934,682	934,682
資本剰余金	1,282,222	1,282,222
利益剰余金	4,165,294	4,183,313
自己株式	△655	△655
株主資本合計	6,381,543	6,399,561
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	94,769	100,968
土地再評価差額金	△970,933	△970,933
評価・換算差額等合計	△876,164	△869,965
純資産合計	5,505,378	5,529,595
負債純資産合計	8,955,527	9,600,497

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	3,455,091	3,626,761
売上原価	993,825	1,070,714
売上総利益	2,461,265	2,556,046
販売費及び一般管理費	2,382,403	2,374,755
営業利益	78,861	181,290
営業外収益		
受取利息	446	202
受取配当金	1,242	1,891
不動産賃貸料	194	194
その他	1,548	1,490
営業外収益合計	3,430	3,778
営業外費用		
支払利息	298	1,347
不動産賃貸原価	122	119
リース解約損	4,873	4,437
営業外費用合計	5,294	5,904
経常利益	76,997	179,165
特別利益		
投資有価証券売却益	2,792	-
特別利益合計	2,792	-
税引前四半期純利益	79,789	179,165
法人税、住民税及び事業税	74,690	98,927
法人税等調整額	△35,853	△31,829
法人税等合計	38,836	67,098
四半期純利益	40,953	112,067

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。